



先月から急に寒暖の差が大きくなりましたね。つばめ組でも熱や咳を伴う風邪が一人ずつ順番に流行っていました。これからどんどん寒さが増しインフルエンザ等も流行してくると思われます。毎日元気に遊べるように「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣をお願いします。園でも「外から帰ったら手洗い・うがい」が身につくように習慣化していきます。

10月の保育より

いろいろな経験

10月は、真鶴中学校学習発表会への参加、町文化祭作品出展と見学、運動会といろいろな経験をしました。どの行事も初参加のつばめ組にとっては、ドキドキの体験だったと思いますが、一つ一つの経験が積み重なって自信に繋がっていると感じています。その中でも、秋のひなづるパーク運動会には、ご家族にもたくさんご参加いただきありがとうございました。

つばめ組たちの種目はいかがでしたか？以前の運動会では開会式から全てを通すリハーサルを2回ほどやっていたのですが、運動会は子どもと作っていくものと考えてやめました。毎日2~3種目の練習でしたので、実際年少児が全てのプログラムに集中できるか不安でした。しかし、子どもたちはどの種目にも興味をもち楽しく参加できていました。

運動会後のサークルタイムで「どんなことが楽しかった？」と聞くと「滑り台」「恐竜」「マシュマロ」「お菓子」と出ました。「滑り台はおうちの人とやった種目ね。車に乗ったり、ジャンプもしたりしたね。」と言うと「恐竜が出てきたね」「お菓子取ったね」と返ってきました。「大きな恐竜をみんなで運んだね」「踊りもみんな上手に踊れたね」と言う「ドキドキした」とか「上手に踊れたよ」と返ってきました。他にも「マシュマロ、タコ公園で食べた」「(おうちの人)ががんばったねと言ってくれた」と嬉しそうに話す姿がありました。

3歳児はまだ自分の思いを言葉で表現することが上手ではありませんが感じる気持ちはたくさん育っています。話しかけるとあふれる思いが少しずつ自分なりの表現で表れてきます。これからも心が育つ体験、気持ちを表現する体験を増やしていきたいと思っています。

私が今回の運動会で嬉しかったことの一つに『観客皆さんの笑顔』がありました。一人一人が温かいまなざしで子どもたちを応援してくださる姿に本当に感動しました。ご協力ありがとうございました。

11月の目標 ○友達と一緒に遊んだり、関わったりすることを楽しむ。

○いろいろな素材に触れ、自分なりに表現することを楽しむ。



11月の保育において

いろいろな体験を通して、刺激を受けながら興味の幅が広がってきています。異年齢児の活動に刺激を受け自分でも真似してやってみようという行動する姿が見られます。

11月も、よさこい祭り参加、さつまいもほり、園外保育と秋を感じたり思い切り身体を動かしたりと楽しんでいきます。17日からの自由参観には子どもたちの様子を見にいらしてくださると幸いです。よろしくお願いいたします。



この言葉は使ってほしくないな

子どもたちは良いことも悪いこともすぐ真似をします。言葉もそうですね。悪い言葉、汚い言葉や時には親がドキッとするような言葉を使うこともあるかもしれません。

子どもたちは社会とのつながりが広がり、深くなればなるほど周りの影響を受けます。言葉の意味を考えてみると、ただ単に興味や成長の証で新しい言葉を学び、試しているだけかもしれませんし、親の反応を見て、注目してもらうために使っていることもあります。不満やストレスの表れで言いたいことをうまく表現できず、乱暴な言葉を発散していることもあるかもしれません。

気になる言葉や行動が出た時には、そっと抱きしめて『どうした？何かあった？』と聞いてみてください。言われて傷つく言葉や態度なら『それは悲しい』と感じた気持ちを素直に伝える方法もよいですね。